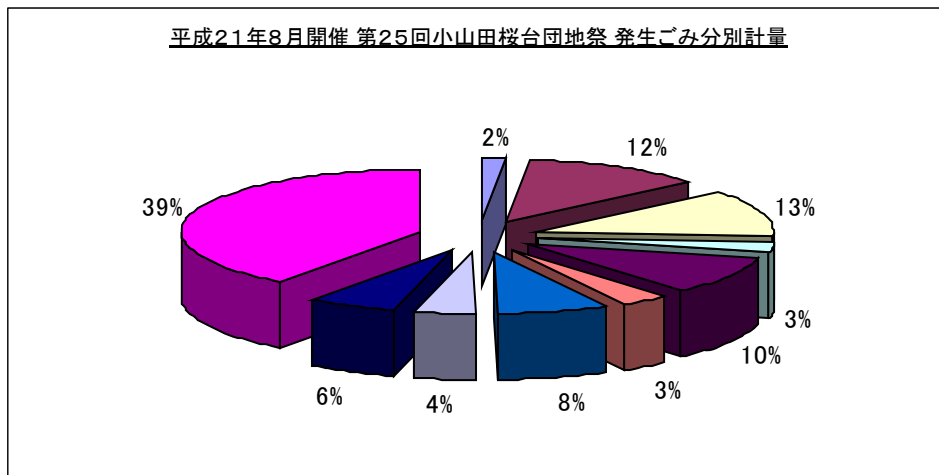


2009/8/22~23 に開催された。第 25 回小山田桜台団地祭ゴミ回収報告

町田市は、ゴミの減量化の一環として市内で開催される祭りで使用される容器のリユース（完全回収）とリサイクル（資源回収型）容器の利用を推薦し補助を始めていました。団地祭実行委員会は、今般、第25回団地祭開催時に市の方針を受けゴミ減量に協力するべきとの見地からリサイクル容器の導入を決定し実施いたしました。しかし、回収時に本体部とフィルムとの分離に手間が掛かり、分離時にフィルムに付着した汚れが容器本体に再付着する傾向と併せて衣服を汚す等問題も多く、また明らかに構造上の問題も見受けられ、今後改善が図られない場合は、採用すべきでは無いと考えます。

ゴミを減らす試みとして、現在の状況の中ではリユース食器が妥当と思えますが、デポジット制等の全体システムの理解を使用者と利用者及び回収する側に得るためには、制度に関する広報等による説明と同時に、トレーニングの実施と利用者への周知期間を必要とします。特にリユース食器の実物を使った説明とトレーニングは不可欠と考えられる事から、多数の出店が予想され、幾つかの自治体・町内会住民が集まる地域祭の様なイベントの場合は、リユース食器導入ありきの姿勢で行う事は慎重であるべきと考えます。

	分別品名	単位 Kg	%
①	ビン(ラムネのビンは含まず)	4.00	2%
②	カン	27.50	12%
③	生ゴミ	28.50	13%
④	燃やせないゴミ	6.00	3%
⑤	段ボール(リサイクル容器本体を含む)	22.65	10%
⑥	雑紙	7.20	3%
⑦	ペットボトル	17.30	8%
⑧	紙コップ	9.50	4%
⑨	ラムネのペットボトル	14.00	6%
⑩	燃やせるゴミ	91.10	39%
	合計	227.75	



発生するゴミを回収する内容では約40%が燃えるゴミに分別されるゴミでしたが、約13%を占めた生ごみの回収は水分の分離方法等に改善する余地が多く、単純に分別比率での処理作業を考えるべきではありません。今回、複数の分別種別対象のゴミを同時に持参された場合、予想外の時間を必要としました。分別種類、表示形式、ゴミ袋の設置方法等について、今までの分別で培われたノウハウを生かしながら、新しい統一された回収システムの確立が必要と思われまます。

以上

2009/8/25

小山田桜台団地祭 環境部会